

38 身近なモデルケース

昨日はたてわり交換給食が実施されました。運動会が徐々に近づく中、異学年での交流を通して、学校全体としての一体感をはぐくんでいくことも大切な取り組みです。運動会に向けて高学年が中学年、低学年をどうリードしていってくれるか楽しみです。

さて、今日は今月の音楽朝会が行われました。毎月、朝の空気と子どもたちの歌声や演奏があい重なって、すがすがしい気持ちにしてくれます。今月は4年生、合唱とリコーダー奏で「歌のにじ」を披露してくれました。リコーダーの演奏に合わせた歌声も、4年生全員での合唱も、とてもきれいでした。始まる前に声をかけた時はまだ緊張の面持ちの子もいたのですが、いざ指揮者が指揮台にあがると集中した表情へと変わりました。

演奏後、全校合唱で、この時期らしい「もみじ」を歌いました。その後4年生の発表への感想を聞くと「かっこよかった」「素敵だった」「いっぱい練習した成果がでていた」などの声が聞かれましたが、なかでも「自分も4年生のようにできるようになりたい」という感想に私自身、とても嬉しく思いました。

交換給食やペア読書など本校では、たてわり活動に力を入れているところですが、そのおおきなねらいとして、高学年にとっては、下学年とともに活動することで「優しさ」や「思いやり」あるいは「責任」や「自己肯定感」をはぐくむこと、また低学年にとっては上学年とともに活動することで「憧れ」「見通し」「自己形成」等の力を伸ばすことにあると考えています。

身近なモデルケースになるために努力すること、身近なモデルケースから学ぶこと。これからも釜利谷小学校で大切にしていきたいと思います。